

## 令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・植物の栽培では、1年生はアサガオ、2年生はミニトマトを育てた。個人で植物を育てたことで、植物の成長に関心をもち、親しみをもって大切に育てることができた。
- ・国語の説明文の単元と植物の観察を関連付けて学習を行うことで、親しみをもちながら学習を進めることができ、気づきを表現する方法を学習することもできた。
- ・1年生においては、あやとり、けん玉、羽根つきなど昔からある遊びに年間を通して取り組んだ。授業や休み時間など取り組むことのできる時間を増やすことで、教え合ったり目標に向かって練習したりする姿が見られた。昔遊びに今まで以上に親しみをもつことができた。
- ・2年生のおもちゃづくりでは、物の特徴を生かしておもちゃづくりができるよう様々な種類の身近な物を用意したことで、形などを生かしたり、それぞれの物を組み合わせたりしながらおもちゃを作ることができた。また、様々な場を用意したことで、見えない力の不思議さに気づき、それを生かした遊びを工夫することができた。

#### (2) 課題

- ・生き物の飼育について、生き物を継続して飼育する活動をさらに充実させる必要がある。
- ・季節との関わりについて、近隣の土手や公園など、地域の特色をさらに生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を充実させていく必要がある。

### 2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・活動を通して児童の様々な気づきにつながるよう、関わる物や人、場について、児童の思いや願いに沿ったものを設定する。また、それらと主体的に関わりがもてるよう、児童の気づきを全体に広めるような助言・指導を行う。	・児童が活動を通して気付いたことや感じたことを表現することができるよう、言葉に加えて、絵でも描けるようなワークシートを工夫する。	・児童がさらに主体的に活動できるように児童の思いや願いを生かした活動を設定する。 ・次回の活動の見通しや意欲をもつことができるよう、毎時間の活動や気づきを価値付ける。 ・活動が終わったら、必ず振り返りを行い、自分が頑張ったこと、何を次につなげたいかなどをワークシートに書く時間を設定する。